

MARTINUS MIROTO(Indonesia)



マルチナス・ミロトは、40 以上のコンテンポラリー作品を作ってきたばかりでなく、パフォーマーとしてヨーロッパ、アジア、アメリカ、オーストラリア、アフリカで公演を活動してきた。彼はダンサー、俳優、振付家であるほか、Indonesian Institute of Arts (ISI Jogjakarta)で講師も務めている。1986 年にミロト・ダンス・カンパニーを設立、1998 年にはミロト・ダンス財団を設立。2001 年にはダンススタジオ・劇場 “Studio Tari Banjarmili” を設立。さらに 2007 年には Bedog Arts Festival を設立した。5 歳で地元の村、Turusan で伝統舞踊を習い始めた。その後、1976 年から 80 年には SMKI (High School of Performing arts) で、80 年から 81 年には Jakarta Institute of Arts で、1981 年から 86 年まで Indonesia Institute of Arts で舞踊の教育を受け、1987 年にはドイツの Folkwang School で学んだ。1995 年には California Los Angeles 大学でダンスの修士号を取得。2005 年にはアメリカン・ダンス・フェスティバルの International Choreographer Commissioning Program を受けた。彼はパフォーマー/振付家としてピーター・セラーズ (The Persians /1993, Stravinsky's Biblical Pieces / 1999, The Love Cloud / 2004), オン・ケン・セン (Desdemona / 2001), イン・メイ (Asunder / 2001), デヴィッド・ミカレク (2006), Garin Nugroho (Opera Java / 2006, Iron Bed / 2008) などの演出家や映画監督と仕事をした。